

想いと文化が、 受け継がれてゆくまち 湯島駅

東京メトロ
千代田線



男坂・女坂を上り天神様にお参りしたら、あてもなく散歩。あなたの好きな湯島の顔を探してみよう

天神下の界隈を歩き、ふと見つけた路地に入れば、そこには昔ながらの下町風景。さらに散歩すれば100年を超す老舗の店や、興味をそられる新たな趣が顔を覗かせる。湯島は、ここを愛する人たちが、あなたをやさしくもてなしてくれるまちです。



切通坂・石川啄木歌碑
江戸時代、往来を開くため台地を切り通して造った坂。歌碑は、新聞社勤めの22歳の啄木が、夜勤帰りにこの坂を独り歩く心情を詠んだものです。



男坂・女坂
古くからの参道で、38段の急な石段を男坂、緩やかな33段の方を女坂(写真)と呼びます。傍らに白梅が咲き、坂下のまちなみも昔の風情を残す、おすすめスポットです。



湯島聖天 心城院
湯島天神の別当寺として歴史は古く、江戸町人から湯島の聖天さまと信仰されていました。美髪のご利益がある江戸名水「柳の井」や、心字池のニホンイシガメなど興味は尽きないお寺です。



注目の人
会長のお店
丸赤商店



学問のみち
2017年、上野御徒町から湯島天神へ向かう道を、学業に縁深いまちとして活性化させたいとの思いから名付けられました。



毎年2月8日～3月8日に「梅まつり(2021年は観梅会)」を開催。歌川広重の江戸百景にも描かれた境内は、見所もいっぱいです。

1 湯島天神

梅の香に包まれる
関東を代表する天神さま

雄略天皇二年(458)に創建され、正平十年(1355)、湯島の住民たちが学問の神様・菅原道真公をお祀りし天満宮となりました。江戸時代には、湯島聖堂と共に文教の中心として幕府に守られ、また江戸の三富(富くじ)の一つに数えられ江戸っ子にも親しまれました。泉鏡花の小説「婦系図」の舞台としても知られ、境内には鏡花の筆塚や、それを上演した新派の記念碑も。

1～3月は受験生が合格祈願にお参りし、また境内には咲き誇る梅を愛でる多くの人が訪れる、湯島の象徴です。

〒文京区湯島3-30-1 ☎03-3836-0753
https://www.yushimatenjin.or.jp/
(宝物殿)
☎9:00～17:00(入館16:30まで)
☎一般500円、大・高生・65歳以上300円、中・小生200円



大人気、小倉白玉あんみつ。小倉アイスのまろやかな口どけとフルーツ、そして凝縮したあんこと濃厚な沖縄産自家製黒糖黒蜜の素敵なハーモニー。780円(税込)。

2 甘味処 みつばち

小倉アイスの元祖は
112年続く老舗の甘味処

明治42年(1909)創業の小倉アイスの元祖。水業だった初代が偶然から生んだ味は、やさしい甘さが人気です。他にも豊富な品揃えで、その素材は全て自家製。だから絶妙のハーモニーが味わえます。寒い冬はお汁粉もおすすめです。



◀店主 嶋田 有子さん



御朱印帳1,900～3,000円、升酒セット・各3,500円、おきもの1,400円～、ねこけし1,200円～(全て税抜)。多面性をもつ猫の世界を存分に…。

4 王冠印雑貨店

どこか懐かしくて新しい、
下町湯島の「ねこ三昧」のお店

レトロ雑貨店が地域の「ねこまつり」へ参加するうち、「ねこ三昧」に。店内は現代作家の作品や国芳の浮世絵猫を始め、かわいだけじゃない一風変わった猫たちが勢揃い。猫好きならずとも楽しめる、下町湯島の新名所です。



◀店主 海老原 久美さん



地鶏を秘伝の割下で煮、二度ほど溶いた特撰の卵でとじる。その三位一体の絶妙の味と香りこそが、鳥つねの親子丼。ランチ親子丼1,500円(税込)。

3 鳥つね 湯島天神前店

鳥料理ひとすじ百余年、
天神前で守り続ける伝統の味

肉屋から店を興し、鳥料理一筋百余年。日本三大美味鶏の比内地鶏、名古屋コーチン、奥久慈しゃもを使い、本当の鳥の味を堪能できるお店です。ランチの親子丼もよし、夜ならコースで鳥を味わい尽くす。秘伝の技と味は受け継がれています。



◀四代目店主 山本 鉄太郎さん



アルプスの少女ハイジのチーズのラクレット(写真のチーズはスーパーベ)1,100円、1日の野菜が半分とれるサラダ980円、グラスワイン600円～(全て税抜)。

5 スイス料理とスイスワインのお店 湯島天神横 ラクレットグリル

ラクレットやチーズフォンデュを
楽しんで、気分はもうスイス!

ゆったりとしたテーブル席で、珍しいスイス料理やチーズ料理が楽しめるお店。ラクレットは日本・スイス・フランス産で全30種類、幻のワインともいわれるスイスワインも30種類、共に日本一の品揃えです。



◀(左から)スタッフ 藤原 建司さん、料理長 人見 智之さん

誌面で紹介したお店やスポットに
ターリーターキーの2人がおじゃまします!

テレビも見てね!

あらぶんちよ散歩 [湯島駅]

- 1月4日(月)～10日(日)
- 地デジ10ch 15:00～、19:00～
- 地デジ102ch 23:00～
- 地デジ11ch 11:00～、14:00～、17:00～

YouTube
「あらぶんちよ!チャンネル」
でも公開中!



※データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。

まちを愛する人たちの絆で栄える商店街

湯島は花柳界があり芸者衆が行き交う、下町情緒が残るまちでした。それが戦争で焼け野原になり、湯島天神は正月でも訪れるのは氏子ぐらいい…。よし!自分たちが暮らし働けまちを、そして歴史ある湯島天神を再興しようと、昭和30年(1955)、先人たちが結成したのが「湯島白梅商店会」です。宮司とまちの人たちが一緒になって梅を植え、お参りに来る人が増えるよう祭りを催し懸命に盛り上げた。天神様とは、運命共同体のようなものです。やがて設立時の店主たちに後を継ぐ青年部ができ、その人たちが今を担い、また新たな世代が繋がる。皆ここで生まれ育ち、暮らし、店を継いでいきます。そのまちを想う心は一つ、だから結束が強いんです。商店会も初め40～50店が、今は190店、東京でも十指に入る規模です。でもまちは繋がっているもの。そこで上野の商店街とも垣根を越え協力しています。点や線じゃなく、「面」で発展しなくては。湯島は楽しく、ほっとできるまちです。どうぞ、お越しください。

「梅まつり(2021年は観梅会)」では、商店会からも出店を出すなど地域一帯となって盛り上げます。



湯島白梅商店会
湯島天神下地域を中心に、飲食から小売・卸売りの老舗から新規店、医療機関や大企業まで、加盟数190を超える都内屈指の商店会。
http://www.yushima-shiraume.jp/

